

2000.12
No.75

RECYCLE
Design

月刊

リサイクルデザイン

地球が与えてくれた贈り物を大切に
リサイクル社会の実現をめざしたい



リサイクルデザインは、横浜市内の資源回収業者の組合(139業者が加盟)による
市民と組合員にリサイクルの情報・回収の実情を伝えるための情報誌です

リターナブルびんは
循環型の容器です

環境のこと、みんなで考えよう! - 子ども環境会議 全記金録 -



子どもパネラー



子どもパネラーは左から

保土ヶ谷区桜台小学校6年 佐久間仁美さん 旭区白根小学校4年 根本航太郎さん
金沢区西柴小学校4年 鶴川陽平さん 金沢区西柴小学校4年 堀澤菜里さん
神奈川区三ツ沢小学校5年 太田美保奈さん 旭区鶴ヶ峰小学校6年 小澤翔太さん

コーディネーター 山本耕平さん/株式会社ダイナックス都市環境研究所

去る10月8日、横浜市旭公会堂で子ども環境会議「教えて! 環境のこと、ごみのこと」を開催しました。当日の参加者はおとな236名、子ども206名。パネラーの子どもたちからだけでなく、会場からも多くの質問が寄せられ、子どもたちの環境への意識の高

さに驚くと同時に、頼もしさを感じた一日でした。
リサイクルデザイン今月号では、第一部の子ども環境会議と第二部のエコロジーQ&A、及び当日会場でお答えいただいたアンケートの結果についてご報告します。

●第1部 子ども環境会議

「私たちにできる3R」

山本 それでは子ども環境会議を始めます。この会議は台本がありませんので、どういうふうに進行していくのか見当が付きません。

でも、控え室でお子さん達の話聞いて、学校・家庭でいろいろなことをやっていることがわかりました。ここにいる6人にそれぞれ、「学校・家庭でこんなことをやっているよ」という話をしていただいて、それを話題にしながら話し合いをしてみたいと思います。

佐久間 5年生の国語の授業で、「1秒が1年を壊す」という文章を学習しました。その内容は、「私たちが今のような環境を壊す生活を続けていくと、地球の未来が危ない」という内容でした。そこで私たちは、いま自分たちができることは何かを考え、『ジュニアグリーン』という会を結成し

ました。具体的活動内容は、ジュニアグリーンのシンボルバッジを作り、それをつけて町内の掃除をしたり、「草花を育てよう」とか「ごみを捨てるな」というポスターを描いたり、牛乳パックのリサイクルを全校に広めるためのビデオ作りをしています。

根本 僕の学校では、給食で飲み終わった牛乳パックを洗って開いて乾かして、集めています。それはいろいろな紙類になります。

山本 どんな紙になるの？

根本 トイレレットペーパーなどになると思います。

山本 学校で使っていますか？

根本 わかりません。

山本 家で使っていますか？

鶴川 ぼくのクラスには、生ごみを肥料にするポリバケツぐらいの大きさの容器があります。パンを残す人が多いので、そのまま捨てるのはもったいないからです。今は土と混ぜて肥料にしています。

山本 それにパンだけ入れているの？入れた後どうするの？

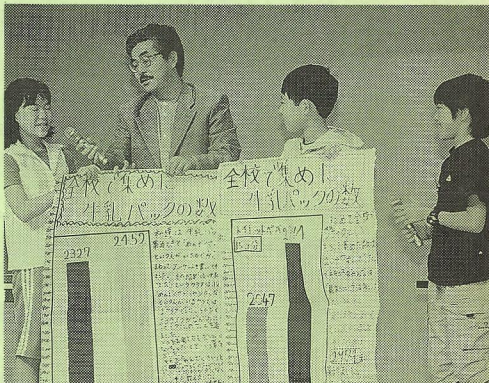
鶴川 ぼくのクラスではパンだけです。葉を入れてつぶして、1か月くらい置いて肥料になります。

山本 においはしませんか？

鶴川 とても臭いですが（笑）。でも、ふたを閉めればにおいがしません。

山本 土と混ぜて肥料にし

て何か育てていますか？



堀澤 私のクラスも、鶴川さんのクラスと同じようにポリバケツにパンとかごはんを入れて、肥料を作っています。

山本 家でやっていることは何かないかな？

堀澤 家では、学校で使ったプリントを先生から返してもらったものを束にして、裏側をお絵かきにする時に使っています。

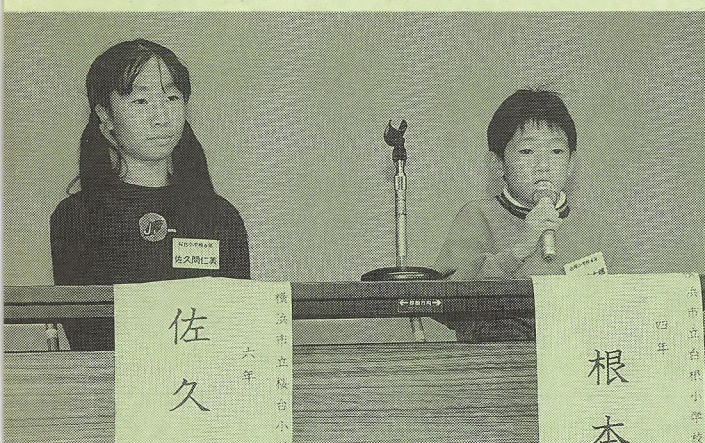
山本 次の太田さんは、5年生の時にした調査の結果を、友だちと模造紙に書いて持ってきてくれました（友だち壇上へ上がり模造紙を広げる）。

太田 4年生の時、給食の牛乳パックのリサイクルを始めました。初めて集めた時には2047枚集まって、トイレレットペーパー15個分ぐらいになりました。これからは他の小学校と『自然会議』をやっていきな

友だちB 僕もいろいろなことにつながって、すごくいいと思います。

小澤 ほとくの学校でも牛乳パックを集めて、それを送ってトイレトーパーにして、また学校に送ってもらっています。それから、先生の作ったテストが余ったりしたら『いらない紙』というケースに入れて、メモ用紙代わりにしています。家ではティッシュの箱を使い終わったら、貯めておいて工作の時に役立てています。

山本 裏紙が使えるように



教室においてあるんだ。みんな学校では牛乳パックを集めたり、生ごみを堆肥にしたり、町のお掃除をした

り、いろんなことをやっているんですね。学校以外の場所ではどうですか？家で集団回収に参加したことありますか？

佐久間 土曜日の缶とびんを回収に出しています。祖父と祖母の家では生ごみを肥料にしています。

山本 あなたの家では？

佐久間 家ではしています。

根本 飲み終わったジュースのアルミ缶を、近くのスーパーの回収機に入れて

います。
山本 2個入れると1円で

てくるやつね。紙は分けていますか？いらなくなった紙は置き場所があるのかな？

根本 色の付いた紙・白い紙を分けて、その紙を糊づけする

るときなどに使っています。
山本 近所で子ども会の回収

收をしていますか？
鶴川 ちょっとわかりません。

山本 太田さんは学校で牛乳パック以外の紙類はどうしていますか？
太田 紙類はよくわかりません。学校には『空かん鳥』

という機械があって空き缶を集めたり、プルタブを集めたりしています。

小澤 子ども会で集団回収

をやっている、いつも子どもが10人ぐらい手伝っています。僕も手伝ったことがあります。

山本 お父さん、お母さんが一生懸命子ども会の回収

をしていても、子どもさんはあまり知らないみたいですね。反対に、学校では牛乳パックを集めたり、生ご

みの堆肥化をしたりしています。もしかしたらお父さんお母さんはそういうことを知らないかもしれませ

ん。
佐久間さんはジュニアグ

リーンで落ちているごみを拾っているけれど、どれく

らい集まるの？

佐久間 1回でポリバケツに2つぐらい、いっぱいになります。

山本 すごいね。掃除した後、また誰か捨てちゃうんだ。どんなごみが多いですか？

佐久間 お菓子の袋と空き缶などが一番多いです。

山本 誰が捨てているのでしょうか？

佐久間 わからないですけど、たぶんその地域に住んでいない人だと思います。

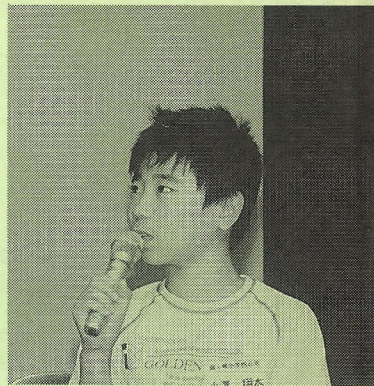
山本 みんなはごみを捨てたことはありますか？（誰も手を挙げない）では、ごみを拾ったことある人？（全員手を挙げる）みんなごみ拾いをしているの？

太田 今度、学校で地域清掃があります。

小澤 学校でクリーン作戦をしていて、生徒全員で学校の周りの道をきれいにします。

山本 ごみが落ちているときにどんな気持ちになりますか？





か？

小澤 こんなにごみが落ちてい
ていと思わなかったの
で、これじゃあ町も汚れて
しまうなあと思いました。

山本 で、僕は死ぬまでご
みを捨てないぞと思っ
てる？

小澤 思っています(笑)。

山本 子どもの時はそう思
っても、おとなになると捨
てる人はいっぱいいますよ
ね。みなさんはいかがでし
ょうか？

お子さんは学校でいろい
ろな活動していますが、今
度は子どもから見たおとな
について聞いてみようか
な。みんな学校で一生懸命
活動しているけれど、おと
なの人を見て、ごみの問題
をちゃんとしていると思
いますか？

鶴川 全員が捨てるわけで

はないけれど、タバコを捨
てている人が多いので、や
めて欲しいと思います。

山本 やめてくださいね、
皆さん。おとなに言いたい
ことはありますか？

堀澤 通学路に火がついて
いるタバコが落ちていまし
た。ちゃんとしたところに
捨てて処理して欲しいで
す。

根本 おとなの人はタバコ
の吸い殻を捨てたり、飲ん
だ空き缶をポイ捨てしたり
しています。子どもはそう
いうことをあまりしないの
に、おとながやるのはおか
しいと思う。

山本 ごみを拾っても拾っ
ても捨てていく人がいる
と、腹が立ってしまうでし
ょう。

佐久間 自分が捨てたとき
に人に言われると怒るみた
いけど、人が捨てるのを
見ると気を付ける人がい
て、表裏があると感じます。

小澤 誰でも1回やっちゃ
うと、「まあいいや」という
気持ちでどんどん続けてい

環境問題のために できることって どんなこと？

子ども環境会議 アンケートから



子どもへの質問
▼どんなことに気を付けられ
ば、環境問題を解決できると思
いますか？

・リサイクルも大切ですが、ごみ
を出さないことが一番だと思います。
・ごみやタバコの吸い殻を絶対に
捨てない。

・産業廃棄物を減らす。
・一人ずつごみを出すのを少なく
する。自然を壊さないようにす
る。

・使える物は使う。ごみになる物
を買わない。リサイクルできるも
のはリサイクルする。リサイクル
できないものは作らない、使わ
ない。

「今の生活を続けていたら大変
だ！」という意識をクラスや学校
のみんなが、そして社会中の人が

持つようになればいいと思う。

一人一人が自分のこととして考
える。ささいなことでもみんなの
力を合わせれば大きなことになる
ので、地球を守るはず。
紙を無駄にしない。

一人一人が環境(地球)に責任を
持ち、リサイクルに取り組む。
ごみ拾いとか出来ることからや
ってみる。家でも牛乳パック・ト
レイの回収をきちっとやる。
自分たちが身近なことに気を付
けて、考えて行動する。

▼環境問題のために自分で
実行していることがあった
ら、教えてください。

紙の再利用。

三ッ沢小のホタル委員会では毎
年ペットボトルを使ってホタルの
幼虫を放流しています。

クラスで自然会議というのをや

っている。

牛乳パックや新聞紙・トレイなど
をリサイクルしている。

アルミ缶回収。

大通り公園のごみ拾い。

プリントやチラシの裏紙を算数
の計算の時に使っている

夏の間エアコンをつけないで、
外遊びで涼んでいました。

トレイ・牛乳パックのリサイク
ル。古着を着る。ものはすぐに捨
てない。修理して使う。

牛乳パック、古紙のリサイク
ル。ペットボトルの回収：旭区に
はほとんど回収箱がないため生協
まで持っていくのはなかなか大変
です。

できるだけ包装をしないよう買
い物先で頼みます。買い物袋を持
つていきます。

近所のスーパーで分別をしてい
るので、私も友達と分別をしに行
きます。

電気器具を使ったらすぐコンセ
ントを抜くようにしている。

ケナフの花を育てている。

車に乗らず、自転車に乗ってい
る。

夏休みに「青葉リサイクルプラ
ザ」を友だちと訪ねてリサイクル
の現状を自分たちでまとめ、学校
で発表しました。リサイクルの大
切さなどのように行われているか
など、みんなの意識向上に努めま
した。

っちゃうから、なるべく止めた方がいいと思う。

山本 今、横浜でもごみのステーションにたくさんごみが出ています。その

ごみはおとなだけではなく、子どもたちもたくさん出して

出しているんだよね。みんなはリサイクルをしている

けれど、リサイクルよりもっと大事なことは、ごみ

を出さないこと。じゃあ、ごみを減らすにはどうした

らいいのかな？

佐久間 必要以上にものを買った、包装も何枚も包

んだりするのではなく、少なくする方が、ごみを減らせ

ると思います。

つとごみが減ると思いま

す。

山本 良いアイデアだね。フリーマーケットに出した

ことありますか？

根本 はい。売れたと言う

か、弟の幼稚園で「そう

いうものがあつたら出して

ださい」と言っていたので。

山本 飽きたオモチャとか

きつくなつた洋服は、小さい子にあげるとかしてなるべく捨

おとなへの質問

▼日常生活の中で、保護者としてお子さんに環境問題について伝えていらっしゃる

ことがあれば、お聞かせ下さい。

まだ使える日用品などはフリーマーケットやバザーへ、牛乳パックやびん・缶・ペットボトルなどはリサイクルへ。基本は物を大切に

にすることと伝えていきます。

将来的に直面すると思われる深刻な環境問題を極力かみくだいて説明し、その担い手であることを意識付けています。

家の周りにはびこつた雑草を広い土地を持つ方のためらいもなく除草剤をまいている。我が家では手で草むしりをするので、環境を守るということを教えている。

世界の自然環境の現状をテレビ・本などで一緒に知る。

分別回収に協力。町内のさわやか運動(Ⅱそうじ)に参加するよう

にすすめる。物を大切にすること。人間が自然の中の特別な存在ではなく、サイクルの一部であること。その上で生活を営むことの大切さ。

電気・温水などをできるだけ使わずに過ごさせています。慣れてしまえばどうということはない。

すぐに物を捨てない。ごみになるものは買わない。

毎日の生活の中でその都度、なぜそうしているか説明しています。たが、環境問題をもう少し意識させた方がいいかなと思いました。

夏休みにキャンプに出かけ電気のない生活をする。体験が一番！

お店で回収しているものはなるべく出してごみを減らし、水を汚さないように心がける。

▼本日の「子ども環境会議」に参加なさって印象に残ったことはありますか。

子どもから学ぶことが多かった。今後は買い物の際、スーパーのト

レイに気を付けたいと思います。

学校によって取り組み方にずいぶん差があるように感じました。

せっかくクラス単位で取り組んでも学校全体ではどうなのか、またそれを続けていけるのか、気になりました。でも、子どもたちに繰り返し教えていくのが一番だと思います。

子どもの方が純粋に環境問題を考え、実行しているようだ。学校での取り組みも必要だと思った。

これからこの問題に直面する子どもたちにターゲットを絞っていただき、とてもうれしく思います。

この輪をぜひ高校生くらいの子世代にも広げてください。

便利さと引き替えに失われてしまったことをお話し下さった矢野先生のお話が印象に残りました。

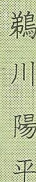
便利すぎる生活は環境を壊すだけでなく、生きていく力や知恵も失われてしまうのではないかと不安になりました。

子どももおとな顔負けに環境について考えているのだと思い、びっくりしました。

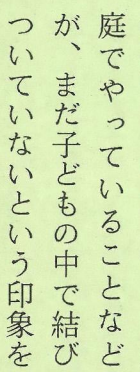
子ども・親・学校・地域がそれぞれは頑張っているのですが、ちょっとばらばらのような気がします。もっと家庭の中でリサイクルのことを話題にしなければと思いました。

子どもたちの見方は厳しく正しい。子どもときから環境を意識していくことの必要性を感じた。



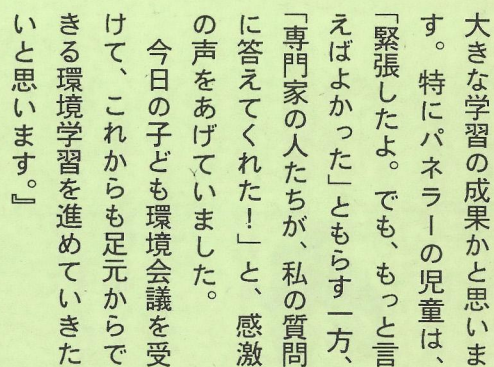


根本 ペットボトルから洋服ができるというのを本で



*
*
*

はなくなってしまうなんてびっくり！」など、いろいろな感想が聞かれました。これも



『よこはま白書』は横浜市環境事業局や各区のリサイクルに関する情報をお知らせするページです

……市民のユニークなアイデア満載！

ヨコハマごみ減量・リサイクルアイデア大賞十選

年間約162万トン。市民1人が1日1300グラム。これが昨年度に横浜市中で排出されたごみの量です。この量を少しでも減らすと、横浜市では『ごみ減量化アクションプログラム』を策定中ですが、その第一歩として『ヨコハマごみ減量・リサイクルアイデア大賞』を募集しました。今月は応募のあった中から選ばれたユニークな『アイデア十選』をご紹介します。

●買い物袋持参化計画

小さなことから始めよう。買い物袋持参化をはかるために提案します。横浜市の花・鳥・木、各区の花などを絵画化したファッショニックで、旅行にも持参でき、広い年齢に適する買い物袋を作って販売する。

港南区/斎藤誠一さん

●エコ商店街の実現

ごみは減らすよりも出さない方がいい。エコ商店街

では商品のパッケージを極力へらしていく。この商店街に買い物に行くときは、買い物バッグはもちろん、プラスチックの蓋つきケース・ファスナーつきのビニールケース・水筒・あきびんなどを持参する。昔は豆腐屋さんにお鍋を持って買いに行ったというが、豆腐などは蓋つきのケースに入れてもらう。肉や魚はファスナーつきのビニールに入れてもらえば、家に帰ってから冷凍するのも便利。

梅干や佃煮などは、びんに入れてもらう。量り売りをしてもらえば、買い過ぎ防止にもなる。またお弁当屋さんには店専用のバックを有料にして、次回はそのバックを持ち込んでもらうようにする。夏場は保冷材用のバッグを持ち歩けば、食中毒防止にもなる。

このような活動は、コストの面でスーパーマーケットではなかなかできない。商店街ならではのエコ活動

は、環境に対する配慮の点から世間から支持されるだろう。元氣のない商店街復活にもつながってほしい。

都筑区/荒井郁子さん

●エコカードの導入

資源となる家庭ごみに対して、市は各企業と提携を結び、エコカード（リサイクルチップでも可）を導入し、例えば買い物の際、企業が販売しているエコバッグを持参し、レジ袋などを利用してなかったらポイント（リサイクルチップ）を与え、そのポイント数にに応じて生活必需品を渡すと言う制度を導入してみてもどうか。さらに、市はエコバッグを独自に作り、市民に配布もしくは販売してはどうだろうか。これらのポイント制導入は市民の資源リサイクル意識を向上させるだけでなく、環境悪化の抑制・改善や、市の資源リサイクルに関する取り組み、ごみ減量等大いに貢献

することができると思う。

保土ヶ谷区/長島裕史さん

●市内18区のごみ減量競争

横浜市の18区でごみ減量を競う。1か月ごとに量を報告し、最も減量することができた区に対し、年度末にごみ袋やペットボトルでできたたわしや植木鉢、再生紙のトイレットペーパーなどをプレゼントする。

港北区/大久保幸子さん

●減量化目標の設定

まずこのようなキャンペーンで市民の関心を高めること。町内や団地単位で、その全体のごみの量を把握し、減量目標・作戦を

作る活動をおこす。家庭での努力はもちろん第一だが、まわりで雰囲気作りを。例1 団地では個人による減量化が難しく、勤め人が店頭回収するのは難しい。そこで粗大ごみのルール作りにもっと回収業者を活用して、リサイクルと併せて市民が関心を持ちながらできるシステムを作る。

例2 家庭ごみの収集を行っている市職員が直接住民に呼びかける。ごみ置き場に張り紙などしてボランティア活動に結びつけることが必要。いずれにしてももっと大きく活動を広げたい。

磯子区/小山嘉孝さん



『よこはま白書』は横浜市環境事業局や各区のリサイクルに関する情報をお知らせするページです

●夏祭りの使い捨てトレイ回収案

私の住んでいる団地では、今年夏祭りの使い捨て容器の回収方法について試行しました。毎年大小2000枚の食器が夏祭り終了時、生ごみや割箸とともに生ごみに出され、「何とかリサイクルに近づけないか」と考え、次のように実行しました。

- ①会場で生ごみを4つに分別する
- ②食器には食べ残しがないようアナウンスする
- ③カレー用の米のとぎ汁を捨てないでトレイ洗浄用にする
- ④ごみ袋がいっぱいにならないうちに、こまめに洗浄を済ませる

この結果、大変な作業ではありませんでしたが、盛り付けや一人分の量を工夫したり洗剤を使わないで手あがらない等の利点がありました。生ごみの量も少なくなりました。西区/岡崎豊子さん

●myコップ・my皿

マイコップを持ち歩いてジュースをそのコップに入れると安く飲めるシステムを作ったかどうか。食べ物もセルフサービスで

my皿と箸を持参すればいいと思います。

旭区/菊地めぐみさん

●布おむつの支給

小さい子どもを育てていると使用済紙おむつがごみとしてたくさん出ます。我が家では布おむつを主に使用しています。皆さんに布おむつのよさを知ってもらえるパンフレット(布おむつの利点や不便な点、賢い使用法など)と、希望者

にのみ布おむつを支給するというのはいかがでしょうか(生後6ヶ月くらいまで申請可能というような形で)。布おむつの良さを知らないながらも、買うまでに踏み切れない方良いと思います。緑区/渡辺美和子さん

●リサイクルマイスター制度の新設

家具・おもちゃ・衣類・電気製品など、壊れてしまったりほつれてしまったりしたもの、捨てるのはもったいないんだけれど、「思いながら処分している人も多いはず。そこでこれをうまく直してくれる人たちを市内に見出し、リサイクルマイスターとして認定します。

例えば大工さんでリタイアした方とか、子育てに追われていたけれど衣類を縫ったり編んだりする技術のあるヤングママ、それから各地区センターでおもちゃの病院をなさっている方々を、広く市民に紹介・案内するというアイデアです。

港北区/一言庸夫さん

●花さかじいさんプロジェクト

近隣公園などにコンポストを設置して、近隣街区単位に堆肥を生産し、公園の花壇や樹木、市民菜園作りを大々的に進めていこうという提案です。共働きの家庭も多いので、コンポストセンターには24時間いつでも生ごみを持ち込めるようにします。きっと花さかじいさんが現れたように、公園には花が咲き乱れることでしょう。

この提案は単に生ごみの減量化だけでなく、地域の経験豊かで元気な高齢者を中心として、子どもたち、青年層などの有志希望者を募って大々的に展開されていくことで、地域のコミュニケーションの場になっていくはず。

港南区/向川登志尾さん

リサイクル掲示板

- ▼環境セミナー公開講座「環境ホルモンの野生動物への生殖影響」講師/井口泰泉さん*12月7日(木)10時~12時 栄区役所新館4階(先着100名直接会場へ) 小045・893・6166
- ▼センターリサイクル 家庭の資源物を回収。車持ち込みOK。
- ▼泉区 12月3日(日)・17日(日)の2回 9時~12時 環境事業局泉事務所 回収品目 紙類/新聞紙・段ボール・雑誌・紙バック 古布/古着・古布・毛布・カーテン・着物 びん/リターナブルびん・飲料用ガラスびん 金属/アルミ缶・スチール缶・小物金属類(鍋・フライパンなど) ペットボトル・トレイ・発泡スチロール 045・803・5191
- ▼瀬谷区 12月2日(土) ニッ橋公園 9時~12時 回収品目 紙類/新聞紙・段ボール・雑誌・紙バック 布類/古着・古布・毛布・カーテン 金属/アルミ缶・スチール缶・小物金属類(鍋・フライパンなど) びん/リターナブルびん・飲料用ガラスびん ペットボトル 045・364・0561
- ▼ファイバリーサイクル 古着・古布回収。ビニールにつめて午前中に回収場所へ。
- ▼青葉区 12月9日(土) 区役所第2駐車場
- ▼栄区 12月9日(土) 区役所駐車場・かさやうわ館
- ▼港南区 12月7日(木) /コップかながわ日限山店・大久保店・野庭店/生活クラブ港南センター・日限山デポ/ながの幼稚園他
- ▼南区 12月8日(金) /コップかながわ大岡店・中里店/上大岡ハイッパ棟集会所/湘南保土ヶ谷マンション6号棟集会所/生活館みなみ/永田小学校他
- ▼泉区 12月12日(火) 中田カトリック教会/コップかながわ中田店・萩丸店・谷戸入口店・和泉店/横浜聖クリストファー教会他
- ▼西区 12月12日(火) /コップかながわ中西行政区事務所/西平沼宮元町内会館他
- ▼都筑区 12月19日(火) /コップかながわすみれが丘店/ハーマス荏田/神奈川ネット「丘の街」シンフォニックヒルズ/メゾン藤の木台/勝田団地第一集会所/仲町台地区センター/ハウススクエア内ショールーム/南山田町内会館/東山田公民館他
- ▼磯子区 12月19日(火) 磯子市民ネット事務所/汐見台団地/杉田台団地第4街区管理事務所/コップかながわ洋光台店/磯子台パークハイイツ管理棟他

●第2部 エコロジーQ&A

「教えて！環境のこと、ごみのこと」

山本 それでは、ここから専門家の方にかがっていただきます。皆さんが日ごろ感じている疑問をうかがって、専門家の方々に答えを持って帰って頂きたいと思っています。まず、第一部の子ども会議で出た質問に答えていただきますよう。

白井 先ほど牛乳パックについての質問が2点ほど出ていたのでお答えします。まず、「牛乳パックを再利用すると木を何本切らずにす

ませんか？」というご質問ですが、現状では卵や果物などが壊れないように衝撃を和らげる緩衝材として使われている程度です。

他の古紙はほとんど紙の原料として使いますが、一部は紙以外の分野でも使われています。例えば、紙の繊維をボード状に固めて建築材として使ったり、おがくず・稲わらの代わりに新聞・雑誌などの古紙を細かく刻んで家畜の寝床に使ったり、プラスチックなどと合わせて固めて固形の燃料に、というような用途があり、牛乳パックも紙にするだけではなく、こうした分野にも使われる可能性があります。

では、古紙のリサイクルはどれだけの木材に相当するかというと、1トンの古紙は直径14センチ高さ8メートルの筒状の木20本分にあたります。1リットルの牛乳パックを30枚集めると1キロになりますから、計算してみてください。

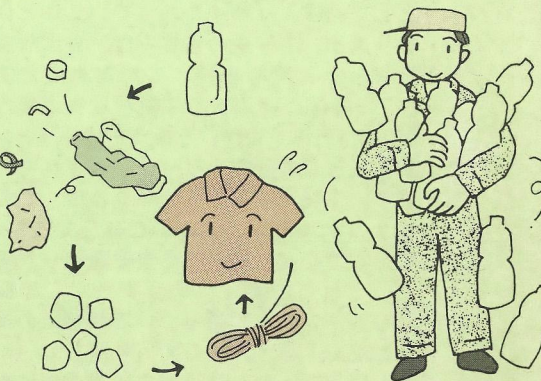
また、「紙以外に牛乳パックを再利用する方法はありますか。」という質問が非常に多かったですね。現在、横浜市の7区でペットボトルの回収をしています。が、他の区はどうなるのでしょうか。

石川 ペットボトルは便利なので、コンビニ・スーパーなどの清涼飲料は、ペットボトルであふれかえっています。ペットボトルはポリ

エチレンテレフタレートという、単一のリサイクルに適した素材を使っていますから、1回で捨ててしまうのは非常にもったいないのですが、これをリサイクルするには非常にコストがかかります。横浜市では、リサイクルにかかる費用を計算したり話し合いをしたりしてきたのですが、基本的には「事業者の責任でもっと自主回収を進めて欲しい」と考えてきました。ごみになってしまふものを市民の税金を使って処理・リサイクルをするという社会全体の流れの中で、横浜市も昨年度からペットボトルのリサイクルを始めて現在、青葉・緑・都筑・泉・港南・栄・戸塚の7区で実施しています。来年2月には鶴見資源化センターを改修して、神奈川・西・中・鶴見の4区に回収を拡大しま

す。残りの7区についても早く実施して、18区で展開していきたいと思っています。現在、緑・鶴見・戸塚に選別センターがあり、そこで収集してきたペットボトルに混ざっている異物を除いて、ペットボトルのかたまりにするのですが、そのためには施設の整備がどうしても必要になります。つまりペットボトルのリサイクルには、非常にお金がかかることをお知らせしておきたいと思います。

ペットボトルの再商品化は、選別センターで塊にしたペットボトルを工場で破砕し、純度の高いフレークや粒にして再商品化します。最終的にペットボトルは7



割程度が洋服・Tシャツや繊維や、卵のパックやシート類に再商品化されます。先ほど「洋服を作るにはペットボトルが何個ぐらい必要ですか?」という質問がありました。約20〜30本でポリエステル繊維のユニフォーム上下に再生されています。

山本 佐久間さんの質問にあった保土ヶ谷区の回収は、もう少し時間がかかるということですね。会場からは、「あんなに堅いものか?」という質問がありました。あのままペチャンコにして洋服にするわけではなく、ペットボトルを細かく砕いて糸にしてから洋服を作るので、勘違いしないようにしてください(笑)。

事前に「スーパーで肉などについているトレイは、なくてもいいのにどんどん増えています。せっかくスーパーで回収しているのに捨てている人が多いから、初めからなければいい

のに」という質問をいただいています。

大内 ドイツなどでは、それぞれの家庭から容器を持ってスーパーに買い物に行きます。お金を払った後に自分の家から持ってきた容器に入れ替え、トレイはスーパーの入口にある回収ボックスに入れて、自分の家には一切持って帰りません。家庭ごみの処理は、日本のように税金を使うのではなく有料です。ごみを出せば出すだけ家計に響くわけですから、買い物するものなるべくごみになるものは買わない。トレイはみんな回収ボックスに置いていきます。何回も使い回しができるだけでなく、回収したトレイは同質の材料でできているので品質が一定です。スーパーで回収して再利用する場合は、品質のいいものができることになります。さまざまな柄や色の発泡スチロールが混ざっていると、回収しても再資源化するのは大変困難でコストもかかります。大きい

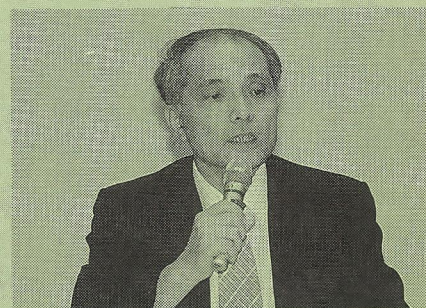
● 専門家パネラー



財団法人古紙再生促進センター
事務部次長
白井俊市さん



横浜市環境事業局
事業推進部原料推進課長
石川美枝子さん



財団法人横浜市教育文化研究所
環境教育委員会
丸茂高さん

古紙再生促進センターでは、紙のリサイクルに関するさまざまな活動をしています。学校に関連する活動では、学習帳についているグリーンマークがおなじみでしょう。

日本で1年間に作られ使われている紙の量は約3000万トン。赤ちゃんからお年寄りまで含めて、1年間に1人が約240キロの紙を使っている計算になります。そのうち古紙として回収して利用するのは1700万トンですから、6割程度を古紙として回収・リサイクルしていることとなります。小学生の皆さんは、身近な牛乳パックに関心を持っていたようですが、1年間に使用する牛乳パックの量は23〜24万トン程度、そのうち約5万トンが古紙として回収・リサイクルされています。牛乳パックのリサイクルは、紙のリサイクルのシンボリックな存在ですが、私たちの使っている紙の全体量から見ると、それほど多くはありません。年間330万トン作って使っている新聞紙のような紙を、どう回収して再利用していくかということが、今後ますます重要になってくるでしょう。

皆さんに寄せていただいた作品を、先ほどロビーで見せていただきました。地球環境の問題から身近な生ごみのこと、牛乳パックのリサイクルや分別のことなど、現在の環境問題・ごみ問題を、私が想像している以上に一人一人が真剣にとらえ、それが当たり前になっているということを、非常に力強く感じました。

横浜市の人口は340万人、市としては全国一の人口です。一年間に排出されるごみの量はおよそ162万トン。これは今度ワールドカップが開かれる横浜国際競技場の10杯分以上になります。また、ごみとして処分しているスーパーのレジ袋は年間3万トン以上ですから、塵(ちり)も積もれば山となるといっておわかりいただけるでしょう。ごみの発生段階で1人1人が何を心がけるかが大切になってきています。そうしたことを、小さいときからの実践や、環境に対する思いによって培う時代に入っていると思います。

環境絵日記の審査に参加させていただきましたが、その時にも小学生が非常に地球環境に対してクリアな目に関心を持っていることに驚かされました。先ほどのパネラーたちは全員ごみ拾いを体験していますが、その体験を通して地球環境を守る立場の人に成長してくれるのではないかと強く感じました。

環境教育に関心を持ったきっかけは、教師として最初に勤務した学校の近くにホテルがいたこと。ホテルを追いかけてもう30年以上経ちます。当時は横浜市内のあちこちでホテルが飛んでいたのですが、年々生息地が減少しており、このままではまもなく絶滅してしまうのではないかとこの状態にあります。「ホテルが飛び交うような豊かな自然に囲まれた市にしたい、街にしたい」という願いから環境問題に関心をもち、その基礎となる環境教育にのめり込みました。

お刺身のトレイで金のまき絵がついたトレイなどは、500円も600円もする

そうです。でも、お店から自分の家へ持って帰ったら捨ててしまう。これはお金の問題だけでありません。

発泡スチロールのトレイの原料は、あと何十年しかもたないと言われている石油です。それを使い捨てでポイポイ捨てしてしまうのは、

大変心の痛む問題ですね。山本 スーパーで回収して

いる箱があっても、面倒だからと持っていない人が多いのですが、皆さん少しでも持っていただくさいね。スーパーの回収ボックスはそれほど大きな容器ではないので、ごみ袋いっぱい

ためてもっていくとちょっといれるの恥ずかしいです。私の経験ですが

(笑)。少しずつスーパーに返すのがコツかなと思います。

次は、「今は使い捨てが多いのですが、企業はごみを減らすための研究などをして

いるのですか」というこ

質問です。

矢野 私は市民運動をやっ

ています。去年末、「グリー

ンコンシューマーになる買

い物ガイド」という本を出

すために全国85のスー

パー・生協・コンビニにつ

いて、リサイクルをきちん

とやっているかとか、環境

についてどんな取り組みを

しているか調べて評価をし

ました。私自身も12社ほど

本店と店舗を調査しまし

た。4年前にも同じ事をし

たのですが、当時と比べて

とてもがんばっているこ

ろもありました。環境や健

康により商品をお店に並べ

ていたり、本社にきちんと

環境対策を推進する機能を

持っていたり、トレイなど

の余分な包装材は減らす努

力をしていたり――ばら売

りや量り売りをしていると

ごみは少なくなりますよ

ね。いろいろな意味でスー

パーはかなり努力をしてい

ますが、努力をしている店

としていない店では大きな

格差があるという印象を受



古紙回収業者代表
有限会社ビッグサービス
鈴木一秀さん

私は横浜市内で資源回収に取り組んでいます。横浜の街をもっときれいにしていくために、今まで以上に自治会や子ども会などの資源集団回収に協力していただきます。そして皆さんの力でおとなを引っ張って行ってほしいと思います。



エコライフかながわ
事業運営部代表
大内えりかさん

先ほど6人の子どもパネラーの意見を、「将来の日本は皆さんたちが担ってくれるのだろう、きっとすばらしい日本になるだろう」という気持ちで聞いていました。私は10数年前から放送大学を受講して、環境・資源・エネルギーや宇宙について勉強してきました。授業を通して、地球上でいろいろな環境問題が起こっていることを知り、これから先の人間・生き物・植物のために少しでもいい環境を残してあげなければ、という気持ちで環境問題にかかわっています。

(柿を手にとって) この柿を宇宙にポッカリ浮かぶ地球だと思ってください。お風呂の水が汚れたら取り替えることができますが、地球の海や川がもし汚れてしまっても、簡単に取り替えることはできません。たった一つの私たちの家である地球だってそうです。壊れたからといって大工さんに直してもらったり、引越しをすることはできません。だから将来の人々のために、地球を大切にしていきたいですね。



グリーンコンシューマー研究会
世話人・麻布高等学校講師
矢野郁子さん

私の小さい頃は冷蔵庫がなく、箱の中に水を入れて冷やしていました。洗濯機にはしぼり機が付いていて、手で回してしぼっていました。どちらも電気を使う必要がありません。母は冬に冷たい水で食器洗いをしてつらかったでしょうが、いつの頃から湯わかし器ができて、冬でもお湯が出るようになりました。こんなふう

に快適になった結果、大きな物を失ってもきました。それは私たちが生きていくのに必要な、水・空気・森などです。今、都会では浄水器を通さない生水を飲めない。日本の大都市のディーゼル車の排ガスによる汚染は、ロスアンゼルス



い商品を置いて、なかなかお客さんが買っていかれない」とお店の人は言っていました。しらす干しなどはトレイに入れてラップをしてあると量が多く見えるそうで、同じ量だったらトレイのないものを買おうという意識が出てこないとスーパーがいくらがんばっても、環境にいいものも売れません。だからカギをにぎるのは買う側、私たちお客さんだという印象を受けました。

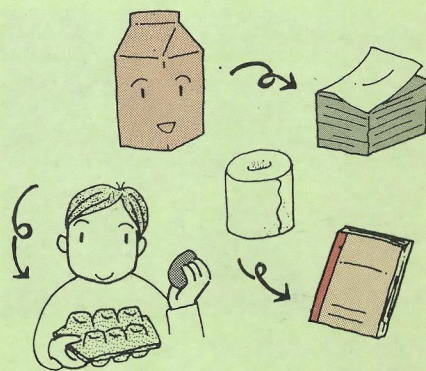
質問1 いま森林破壊が進んでいます、それを防ぐため運動にはリサイクル以外にどんなものがありますか？ もう1つの質問は、納豆のトレイがリサイクルできないところがあります、それはなぜですか？

質問2 なぜリサイクルの袋を作らないのですか？ それから、横浜市の回収は、びんと缶以外はどのように集めないのですか？

質問3 古紙回収で、「チラシと新聞を分けてください」というのはなぜですか？

質問4 このホールでリサイクルしているものは何ですか？

山本 最初の質問から。丸茂 世界の森林は1日にどのくらい無くなっていると思いますか？ 偶然、横浜市の面積と一致している、430平方キロメートルぐらいの森林が1日で消えています。そして1年間で日本の本州と同じぐらいの森林が、地球上から消えています。このままなら、



たぶん君たちがおじいさんやおばあさんになるころには、地球上の森林はほとんど何も無くなってしまうでしょう。これは国連が10年前に警告していることです。

では、木を切らないようにするにはどうしたらいいのか。紙をできるだけ大事に使うことも大事ですが、実は世界の木の半分以上は燃料として使うために切られているんですね。そして残りの半分は建築材など、生活を支えるために必要な材料として使われています。そうした中で日本は『森食い虫』と世界からあだ名を付けられているほど、

大量の木を使っている国です。それも使い捨てています。しかしドイツでは10年ほど前、コンクリートが固まるまで止めておくコンクリートパネルという板について、「木のパネルを使ってはいけません」と法律で決めましたが、バブル時代の日本では使い捨てでした。そのために熱帯雨林の木がどんどん切られました。「使える物は直して使い、使い捨てしない」という考え方をぜひ持ってください。先ほど「もったいない」という言葉を子どもから聞いて、大変うれしかったですね。何年ぶりでしょうか。この「もったいない」という言葉を日本語の中に復活させていただければと思います。

今から数年前、ボルネオ島の熱帯雨林を伐採して砂漠化してしまっただけでなく、仲間数人と植樹に行きました。学校のグラウンドぐらいの場所に、半日がかりで植樹したのですが、非常に大変でした。壊した森を元に戻すということとはとても大変だと知りました。費用もたくさんかかってしまいうことも、ぜひ知って欲しいと思います。

矢野 世界では、「森を管理しながら木を切っていく」というシステムができつつあることも覚えておいてください。

山本 「納豆のトレイはリサイクルできないことがあるのですが？」という質問はどうでしょう。

大内 納豆の容器はポリエチレンにフィルムシートを貼ったものが多く、リサイクルするときに接着剤が問題になるため、残念なことにはほとんどリサイクルされていません。

発泡スチロールは石油の無駄遣いで環境にもあまりよくないため、私は木を薄く切った経木で三角形に包んだ納豆を買うようにしています。昔は植物の葉でいろいろなものをくるんだそうです。日本には四季折々の植物がありますから、自然素材を使ったものを選んで

で買うようにしたらどうでしょう？

山本 「びん・缶以外のリサイクルはやらないのですか？」という質問はいいか？

でしようか？ また、「紙を分別しないでいいのでしょ

うか？」という質問も、事

前にいただいています。石川 日本の古紙リサイクルは、新聞・雑誌・段ボールを回収業者さんが集めて問屋さんや製紙メーカーにというリサイクルルートが昔からできあがっています。ですから税金を使って収集車のごみとは別な形で、びん・びん・ペットボトルを回収していますが、「今までリサイクルできていない分野を資源化しまし

う」という考え方で、役割分担をしています。

古紙は集団回収で1年間に約10万トン程度集まりま

す。家庭ごみは年間約100万トンなので、約1割が地域の集団回収活動によ

ってリサイクルルートにのっています。ごみの中にはまだ20万〜30万トン程度

の、資源化できる新聞・雑誌・段ボール・紙パックが混ざっていますから、効率的にお金をかけないで、今

までの仕組みを生かして地域の力として回収業者さんとタイアップして集団回収をもっともっと増やしてい

けば、紙ごみが減るのでは

と思っています。

最近、プラスチック類やお菓子の袋など石油系の製品が非常に増えています。が、それをごみの中から分別すると、横浜市の場合だと15万トンくらいになってしまい困難です。集めるだけでなく分別する施設も必要になってきますし、今の技術では原材料に戻すことはできません。結

局、今は製鉄所でコークスの代わりに還元剤として使われている状態なので、その他のプラスチック類への取り組みはまだ先のこと

と思っています。

大内 みなさんの地域でも集団回収をしているところが多いと思いますが、まだ家庭ごみの日に紙類が捨てられているのを見かけます。こうした紙類をごみにしないで集団回収に出すことによって、水や石油やいろいろなものを節約することができます。それは地球環境を守ることにつながりますよね。みなさんも、紙類はぜひ集団回収に出してください。

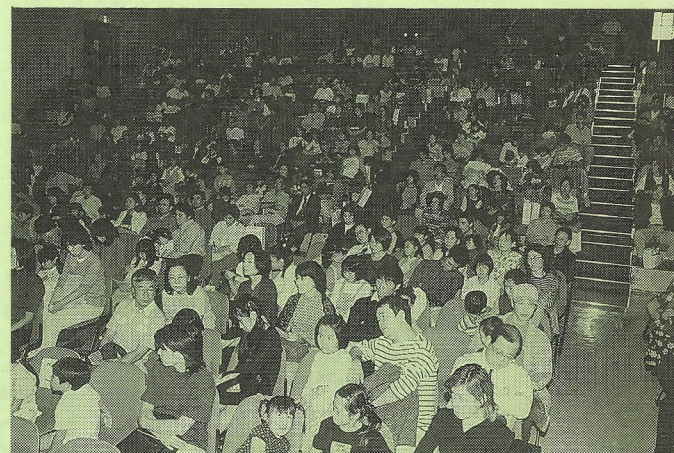
山本 「市では集めないけれど、地域の集団回収、あるいは資源デポといってエコライフかながわなど資源を持ち込める場所を利用して、ごみにしないでください」というのが、お答えのようですね。「なぜチラシと新聞を分けて出すのですか？」ということについては、いかがでしょう。

鈴木 現在は、分けなくていいということになっています。チラシと新聞は一緒に回収に出していただいて構いません。

白井 製紙原料として使う側にとっては、新聞とチラシは紙の質が違いますから、分けていただいた方が使いやすいのです。しかし、回収から利用するまでの道筋を考えた場合、出していただく皆さんにもわかりやすい方法ということ

で、折り込み広告も新聞の中にに入れていただいてもいいということ、製紙メーカー・問屋・回収業者が合意しています。ただ、もし将来チラシが増えた場合には、分別していただくようになるかもしれません。

山本 「旭公会堂のリサイクルはどうしていますか？」という質問ですが、旭区役所同様、「紙だけでなく缶やびんも分別してリサイクルしています」という返事を頂きました。



またぜひこのような機会を設けていただきたいと思います。私も子どもさんたちとお話しして、非常に新鮮に感じました。学校でいろいろ工夫していただいているようですし、子どもたちも一生懸命取り組んだり感じたりしていますが、そういうことが日常の生活の中でも感じ取れるように、おとなが気配りをして、子どもが学校で教わったことについて矛盾を感じないような社会作りにみんなで行き組んでいくべきではないか、という感想を持ちました。

(文責/吉野)

リサイクル標準価格表

品名	買入価格*	業者の売値 日経10/26
	1キロ当たり	1キロ当たり
新聞	*** 0円	4.5~5円
雑誌	** 0~3円	0~1円
段ボール	** 0~3円	3~3.5円
衣類くず	** 0~3円	1~3円
アルミ缶	**** 10~15円	

回収実績表

オフィス古紙 共同回収	アルミ缶 店頭回収
参加企業13社 17,925kg	市内スーパー等93店 53,890kg (3,523,774缶)
横浜橋通商店街 ダンボール回収	
8,550kg	

*集団回収には「買入価格」が適用されます **有料です

有料の場合があります *スチール缶などと選別済の価格です

★500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。また取引条件により多少変化します。

★事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。

事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。

★段ボールは必ず束ねて出してください。

●今月のひとこと たくさんの方に参加していただき、子ども環境会議を無事終えることができました。どうもありがとうございました。会場の片隅で、参加賞として作ったオリジナルふろしきの結び方講座をしたところ、子どもたちにとっては新鮮だったようで、その熱心さにこちらが圧倒されるほどでした。オリジナルふろしき、新年号アンケートに答えていただいた方に抽選でプレゼントする予定です。お楽しみに!(さくら)

●リサイクルデザインは次の場所にも置いてあります
 ▼マルエツ井土ヶ谷店 ▼イトヨーカードー上永谷店・綱島店 ▼神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店 ▼安田火災海上保険横浜支店 ▼東京ガス環境エネルギー館 ▼マリンスポーツデスク・リップル(鶴見カミン5F) ▼グリーンバザール(南区六ツ川) ▼ブックシヨップふれあい戸塚店(ダイエー横) ▼大船店 ▼相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館・白根店生活館・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望が丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・ドリムランド店 ▼マイカル天王町サティ店 ▼ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店 ▼地酒篠原屋(港北区篠原町)・コミュニケーションストアすずきや(戸塚区南舞)・エコロジシヨップエッセンス(中区表田町)

●リサイクルデザインクラブ 会員募集中
 月刊リサイクルデザインを、会員として定期購読して支えてくださる方募集中。ご希望の方は、1年分1000円(郵送料相当)を郵便局の振替用紙を使ってお振込みください。
 口座番号 00210・3・64725
 加入者 横浜市資源リサイクル事業協同組合
 お届けは毎月25日頃。最新号からお送りします。
 ●リサイクルに関するご質問は、住所・氏名・FAX番号を書き添えて、FAX・郵便でどうぞ。
 FAX 045・316・5122

リサイクルデザイン編集室から

月刊 リサイクルデザイン
2000年12月号
No.75

発行日 2000年11月25日

発行人 中野穂恭

編集人 宗村隆寛

発行所

横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒220-0005

横浜市区南幸2丁目16番22号

金属ビル3階

TEL & FAX 045・316・5122

広報委員会

山岡秀明・武松昭男

杉山宜利・芦澤博志

竹澤留美・戸川孝則

イラスト いとうみき

編集・制作 よしのたかこ

(リサイクルデザイン編集室)

印刷 オリジナルプランニング

おとなに刺激！ 環境絵日記 貸し出します。

子どもたちの環境への意識の高さを、あなたの目で確かめて見ませんか。12月1日~15日、エコライフかながわで展示します。さまざまな角度から環境の問題を切り取っていて、おとなが見ても刺激的な絵日記の数々です！

もし展示スペースがあれば、絵日記の貸し出しも行います。たくさんの方に見ていただきたいので、ぜひご協力ください。



お申し込み
お問い合わせ

横浜市資源リサイクル事業協同組合

☎ 045・316・4050 FAX 045・316・6050



PRINTED WITH
SOY INK

